「子どもの発熱時に受診できない」「病床不足が深刻」

直ちに救急医療の維持・充実を

日本共産党

「命の危機まで見て見ぬふり」許せません

「子どもの発熱で問い合わせしても、どこも断られてしまう…」悲痛な声は、医療現場や市保健センターで共有化され、切実な課題となっています。

流山市では、人口急増下でも医療は民間丸投げ。そのため人口比の病床数は、県下最低レベルです。日本共産党市議団は、少なくとも救急医療は市の責任を果たすよう、救急医療における経費の増額を提案。市長は、歳出総額の0・2％（1億6千万円）で今すぐ実現できる経費の増額には背を向けました。一方、複数年を要する「新病院の立地促進」は約束しました。

「救急医療体制の維持・充実を」の世論と運動を広げ、願い実現に力をあわせましょう。



10月４日に開かれた社会保障推進流山市協議会の自治体要請キャラバン。日本共産党市議団４人も参加しました。

参加者からの要望を受け、「就学援助制度の対象者拡大は優先課題」と市が回答しました。

コロナ禍、物価高騰のなか…
財政黒字を活かし、生活応援を

流山市の令和４年度一般会計決算は、市議会賛成多数で可決しましたが、日本共産党市議団は以下の理由で反対しました。

①コロナ禍と物価高騰が続くなか、決算は３年連続、21億円超の大幅黒字となり、積立ても２年連続、15億円超に。一方、市民生活への支援や福祉の増進は不十分。②市長が肩入れするツーリズム（観光）では、白みりんミュージアム建設に多くの費用が投じられ、さらに、旧割烹新川屋の改修費が5億円もかかることが明らかに。③専門性の高い職員の育成や増員も不十分となり、児童虐待の相談件数は職員一人当たり３００件超となり、深刻です。

引き続き、市民のみなさんとご一緒に、市政の改革へ全力をあげます。



マイナカード
市民の陳情を否決
日本共産党は賛成

トラブルが相次ぐマイナンバーカード、市民の４人に１人は持っていません。紙の保険証を廃止することに批判が高まっています。

市長も「保険証廃止は撤回すべき」と回答（８／４付千葉日報アンケート）。

日本共産党市議団の質問では、導入経費は本市だけで総額10億１千万円にもなり、そのうち市民の血税が５億８千万円も使われていることが発覚。市長も「重い負担」と答弁しました。

一方、市議会は紙の保険証存続を求める市民の陳情書を否決。国民の７割が反対している世論に逆行しています。



2023年第３回定例会　星取表

会派	日本共産党				流政会									自民		公明党				流山みらい								
議員名 ○賛成　×反対　－棄権 ※議長は表決に参加しない。	乾　えり	高橋　光	植田　和子	小田桐　仙	小沢えみり	鈴木ゆうすけ	矢口　輝美	川本　大岳	渡辺　仁二	近藤　美保	石原　修治	坂巻　儀一	笠原　久恵	青野　直	中川　弘	海老原功一	桑畑　伴子	岡　明彦	戸辺　滋	野村　誠	宇田　桜子	清水　大	西尾　段	楠山　栄子	中村　彰男	藤井　俊行	森田　洋一	阿部　治正
令和４年度一般会計決算（認定）	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
現行の健康保険証を残すことを求める陳情書（不採択）	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
アルプス処理水海洋放出の中止を求める意見書（否決）	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○
サラリーマン増税の撤回を求める意見書（否決）	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

流山市加4-1688　TEL／FAX 04（7157）6140　メールアドレス　giindan@nagareyama-jcp.jp
ホームページ　http://www.nagareyama-jcp.jp/　流山市議会事務局　平和台1−1−1　TEL 04（7150）6099

ご意見・ご要望をお寄せください

市民の願いとどける
日本共産党の4議席


小田桐仙


植田和子


高橋あきら


いぬいえり

市長・市議の改選から半年。日本共産党市議団は議会内での取り組みに加え、感染症対策や物価高騰対策、熱中症対策を市長へ要請。また、市民的怒りが広がった「サラリーマン増税」の撤回を求める等、国・県・市への予算要望に取り組んでいます。

バス交通

「値上げヤメテ！」の声を無視するな

足の確保を

ぐりーんバス料金値上げに対し、市民から多数の反対意見が…。

しかし、値上げは強行され、民間バス2路線も廃止される方向です。

収支率や採算のみを指標とするバス運行から、地域住民の「足の確保」という目的のために、官民の協働が重要です。地域公共交通は根本から見直すべきです。



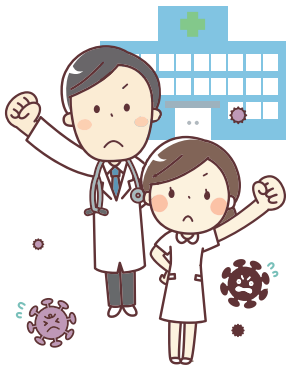
免許返納支援「1年」限定？

免許返納者への支援がスタート。日本共産党市議団の提案も実り、タクシー券も導入に。しかし支援は「1年」限定、75歳未満は対象外…あまりに「不十分」です。

コロナ対策

感染拡大防止へ市の役割果たせ

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行で学級閉鎖が次々と。日本共産党市議団は、公費負担の削減により薬代が9千円にもなることを告発。専用病床確保に向けた補助復活を提案しました。しかし、市は現状把握せず、独自対策も打ち出していません。



教育

不登校400人超きめ細やかな支援を

「不登校の小中学生が約29万9千人。10年連続で増加し、過去最多」（文部科学省調査）を憂慮する声が広がっています。市内でも不登校の児童生徒は400人超に。日本共産党市議団の要望もあり、不登校等を所管する担当室では、教員免許保有職員以外に、スクールカウンセラーを増員。しかし市長の方針により、体制の7割弱は非正規雇用。さらなる改善が急務です。

また市内でも50人以上が民間フリースクールに就学しており、きめ細やかな支援の一つとして通学補助等の支援が待たれています。力を合わせ実現しましょう。

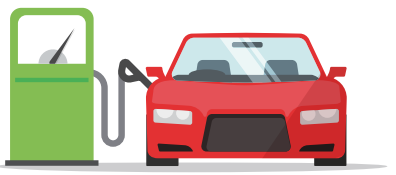


市議会 ねほり はほり

「ガソリン、リットル175円は安い」市長答弁にビックリ

物価対策について、市議会でもやっと強化を求める声が増えてきました。また国民世論に押され、電気やガソリンへの補助延長を政府が表明。しかし、「負担を軽減するために、ガソリン価格は175円を水準に…」との岸田首相の発言や「ガソリン、175円は安い」と断言した市長に市民の生活感は感じられません。

市民に寄りそう政治が求められています。



身近な要求実現

歩行者安全「検討」約束（根方道路）
小田桐仙



念願！ベンチ設置（江戸川台14号公園）
植田和子



交差点の舗装・整備（富士見橋）
高橋あきら



横断歩道の安全対策（流山北小学校前）
いぬいえり

